

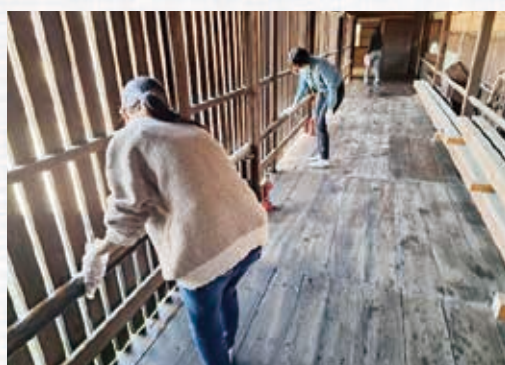
であう。つながる。ひろがる。



同志社大学ボランティア支援室

活動報告書

2022



同志社大学 学生支援センター

ボランティア支援室

Support Office for Student Volunteer Activities

1. 巻頭言

本学は創立以来、建学の精神である「良心教育」において、知育・体育とともに、キリスト教に基づく徳育を重視しています。その徳育の一環として、学生によるボランティア活動を積極的に支援し、学生の自主性、社会性及び奉仕の精神を育み、市民社会の一員としての自覚を促すことを目的に、2016年4月にボランティア支援室を開設し、今年で7年目を迎えました。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が少なからずあったものの、学生のボランティア活動への参加機会の確保やボランティア情報に触れる機会の創出に、特に力を入れました。

ボランティア支援室設立当初より取り組みの柱の一つとしている「地域連携」においては、これまでの活動を継続しつつ、地域に関する知識を単純に深めたり紹介する機会とするのではなく、参加者が地域の居住者の方やその地域で活動を行っている方と交流したり、実際のボランティア活動に参加できるようプログラム内容を工夫し、参加者自身の目で見て、体感できる機会の提供に努めました。

コロナ禍を受けて2020年度からスタートした手紙やノートを介した異世代間交流企画「エールプロジェクト」を、普通に大学生活を過ごしているだけでは出会うことができない世代の人と関係を構築できる機会として継続して実施した他、ボランティア支援室として例年よりも多くの活動機会の提供に努めました。次年度以降も引き続きボランティアに参加する機会を積極的に設けていきたいと考えています。

体験機会の創出と並行して、ボランティア情報を収集する場の提供にも注力しました。どんなボランティア活動があるのかわからず行動に起こせずにいる学生を主な対象とし、それぞれの疑問や不安を解消しながら、参加できる活動を探したり、活動経験者の話を気軽に聞いたりできる場として、「ボラカフェ」を2022年秋より定期的に開催しています。参加した学生同士が情報交換をしたり、質問し合ったりする場面も見られ、一方的な情報提供に留まらない学びや気付きが生まれました。

「地域と共に」をスローガンに活動しているボランティア支援室の学生スタッフ ARCO についても、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、スタッフとしての活動経験の蓄積や地域との関係性維持を十分に行うことがしばらくできませんでした。2022年度は、スタッフの活動経験不足の解消を最優先課題と捉え、地域から依頼される活動に積極的に参加するとともに、ARCO 内研修として地域のボランティア団体との繋がりを再構築した上で、実際にその活動に参加することを通じて、スタッフそれぞれの経験を蓄積しました。

2022年度末現在、ボランティア支援室に登録された学外のボランティア団体数は294となり、2021年度と比較して新たに21団体と関係を築くことができました。今後も、地域や市民活動団体、行政との連携を深め、本学と地域をつなぐ役割を積極的に担っていきます。また、ボランティア活動への参加が、参加学生それぞれの自己形成に寄与する経験となるように、学生スタッフ ARCO とともにボランティア支援室の機能や対応力を高めていきたいと考えています。

ボランティア支援室長 下楠 昌哉

目次

1. 巻頭言	1
2. ボランティア支援室について	
理念・目的／組織体制／活動内容	2
相談対応について／学生相談件数について	3
2022年度ボランティア支援室主催事業	4
2022年度 ARCO 内研修／2022年度地域団体、イベント等への企画、運営協力	5
■ ボランティア支援室学生スタッフ ARCO	
学生スタッフ ARCO とは／代表挨拶／2022年度活動実績／シフト対応	6
同志社つながる@カフェ／With ARCO ～ ARCO とボランティアをしよう！～	7
3. ボランティア支援室実施	
ボラカフェ／エールプロジェクト	9
1日体験ボランティアプログラム／ARCO 研修	10
4. 同志社ボランティアネットワーク	
■ V-NET	
同志社ボランティアネットワークとは／ボランティアサークル徹底比較会 in2022 合同オンライン説明会（今出川）／合同新歓（京田辺）	11
国際居住研究会／STUDY FOR TWO 同志社大学支部／学生団体 CHAD	12
学生団体 LUCKY／ASUVID 今出川／同志社ヒーローショー同好会	13
同志社ワーキングコーラス／Shinmachi Activate Project (SAP)／Global Baton／PAZ MUSICA	14

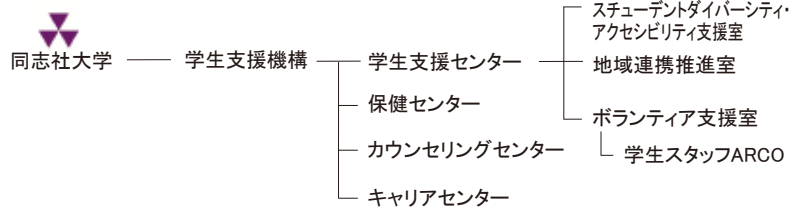
理念・目的

同志社大学は創立以来、建学の精神である「良心教育」において、知育・体育とともに、キリスト教にもとづく徳育を重視してきました。その徳育の重要な一環として、学生によるボランティア活動を積極的に支援することにより、学生の自主性、社会性および奉仕の精神を育むとともに、市民社会の一員としての自覚を促すことを目的として、2016年4月に開設しました。

ボランティア支援室は、学生の成長への支援と同時に、その活動を通じて、大学が地域社会の一員としての責任に応えていくことを念頭に活動します。

組織体制

ボランティア支援室は、課外プログラムや学生生活上の補助を行うことで、学生生活を主体的に送れるようサポートしている学生支援センターの中に位置づけられています。また、ボランティア支援室に関する基本的事項を審議するため、ボランティア支援委員会を設置しています。ボランティア相談の対応やボランティアプログラムの実施等においては、ボランティア支援室の職員及び、両校地の学生スタッフ ARCO (詳細は P.6 参照) が企画・運営しています。



ボランティア支援委員 (2023年3月現在)

氏名	役職
下楠 昌哉	ボランティア支援室長 (委員長)
村上 みか	キリスト教文化センター所長
永田 祐	社会学部 教授 (学識経験者)
服部 篤子	政策学部 教授 (学識経験者)
岩田 喬	学生支援機構事務部長
徐 啓和	今出川校地学生支援課長
濱田 志保	京田辺校地学生支援課長

ボランティア支援室 (2023年3月現在)

氏名	役職
大澤うらら	今出川校地学生支援課 係長
河合 良彦	京田辺校地学生支援課 係長
古川 博康	今出川校地学生支援課
竹村 光世	京田辺校地ボランティアコーディネーター

ボランティア支援室学生スタッフ ARCO (2023年3月現在)

今出川校地		京田辺校地	
代表	1名	代表	1名
副代表	2名	副代表	1名
メンバー	23名	メンバー	20名

活動内容

- **ボランティア情報の収集及び学生への情報提供**
ボランティア情報を収集のうえ整理し、ボランティア活動を希望する学生に対して、希望する活動内容に応じた情報提供を行います。
- **ボランティア活動への学生の参加促進**
ボランティア活動希望学生とボランティア先のコーディネートや、学生のボランティア参加を促すことを目的とした体験的なボランティアや講演会の企画などを行います。
- **ボランティア活動に参加する学生への助言と支援**
学生がボランティアに参加するに際して必要な助言や支援を行います。
- **ボランティアセミナー、講習会等の実施**
ボランティア活動を始めたい学生や、ボランティアに関するスキルアップを目指す学生のために、様々なセミナー、講演会などを開催します。
- **学内外のボランティア団体等との連携・協力**
学内外の関連団体や地域の方々とのネットワークを構築し、学生にとっての活動の場を広げるとともに、地域社会における様々なボランティア活動の、振興の一助となることを目指します。
(関西地区大学ボランティアセンター連絡協議会 / 大学間連携災害ボランティアネットワーク / 大学のまち京都 災害ボランティアに係るパートナーシップ)

相談対応（ボランティアコーディネーション）について

ボランティア支援室では、各校地の窓口にてボランティア活動を希望する学生に対し、相談対応を行っています。「どのようなボランティアがあるか知りたい」「コロナ禍でサークルに入ることもしておらず、何かしてみたいと思って話を聞きに来た」などと、様々な相談が寄せられました。

また、学生以外に、ボランティア募集を希望される団体の方からの相談にも応じています。2022年度末現在のボランティア団体登録数は294団体となり、2022年度の新規団体登録数は21団体となりました。

* 学生ボランティアの依頼を希望される団体さまへ *

お寄せいただいた情報は、掲示板やラックでの配架（ポスター・チラシ等）、来室した学生への紹介、適宜ボランティア支援室HPへ掲載等の方法で学生に紹介します。

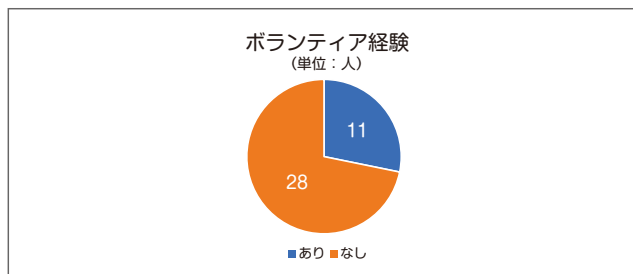
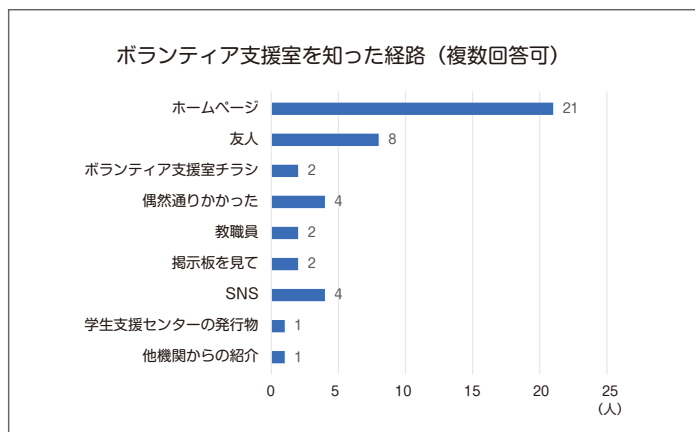
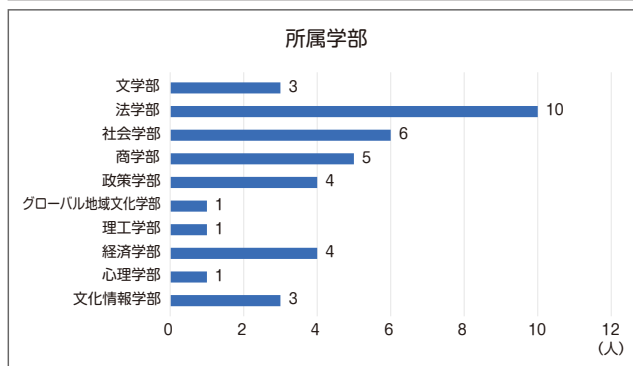
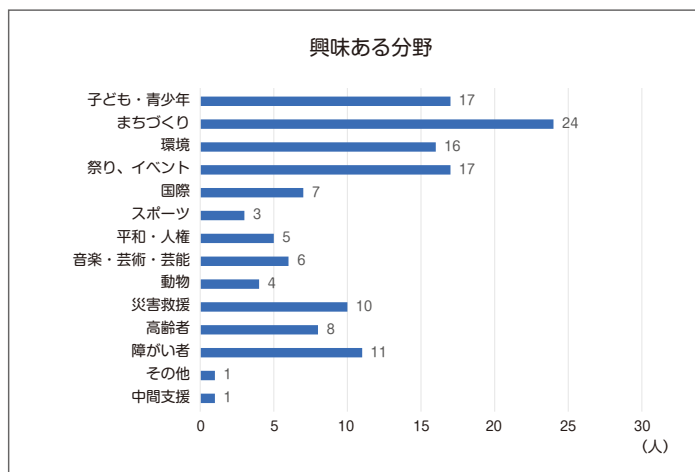
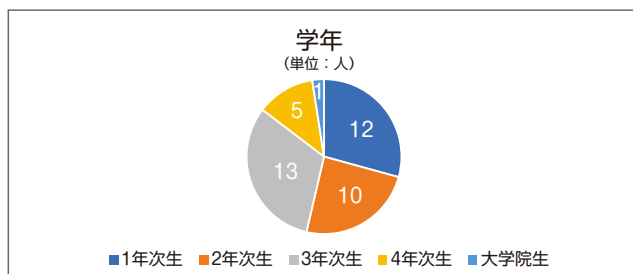
初めて依頼される場合は、【団体登録】並び【ボランティア募集シート提出】の手続きが必要となります。

詳しくは右記ボランティア支援室HPの「学外の方」をご覧ください。お電話にてお問い合わせください。



学生相談件数について（来訪者年度計：41名）

ボランティア支援室では、相談者に応じたボランティア活動をコーディネートできるよう「学生相談受付シート」にて情報を把握し、ボランティア支援室内で共有しています。2022年度の来訪者数は41名となりました。ボランティア支援室を知った経緯が「ホームページ」を見た学生が、最も多く、インターネット上から情報収集をしていることが高いように伺えます。



2022年度 ボランティア支援室主催事業 今出川校地：[今] 京田辺校地：[京]

月日	企画名称	参加者数	場所	実施主体
4/9、4/10	ボランティアサークル徹底比較会in2022合同オンライン説明会(今出川)	延べ62	Zoom	V-NET今出川
4/19	V-NET企画 Doボラ春の新歓まつり～同志社ボランティア団体合同新歓～	7	Zoom	V-NET京田辺
5/7	V-NET企画 Doボラ春の新歓まつり～同志社ボランティア団体合同新歓～	15	[京] 別館第10会議室	V-NET京田辺
5/22	[1日体験ボランティアプログラム] 京田辺の茶園で茶摘み体験しよう！	8	「さんさん山城」の茶園	支援室
2022/7～ 2023/3	エール交換ノートプロジェクト(京田辺)	学生12 子ども12	京田辺市在住の地域の子 どもを対象に実施	支援室
7/2	[体験ボランティアプログラム] 第13弾 和東のお茶を守ろう!茶畑ボランティア	4	京都府相楽郡和束町	支援室
7/3	第22回同志社つながる@カフェ ～身近な食から見つめてみない? 京の暮らしとあなたの暮らし@出町商店街～	2	[今] 良心館410教室、出町 商店街	支援室 (運営:ARCO(今))
7/20	夏ボラ! さあ、でかけよう。新しいジブンと世界に出会う旅へ	8	[京] 日糧館スペースプラザ	支援室
7/21、7/22	ボランティア入門講座 ボランティア参加のススメ～夏休みボラ紹介	今出川:8 京田辺:3	[今] ボランティア資料室 [京] ボランティア資料室	支援室
9/4	[1日体験ボランティアプログラム] 夏祭り運営ボランティアを体験しよう!	9	龍馬館	支援室
9/6、9/8、 9/15	[1日体験ボランティアプログラム] 学童ボランティアを体験しよう!	5	西陣児童館	支援室
2022/10～ 2023/3	エール交換レタープロジェクト(今出川)	学生2 高齢者2	上京区(聚楽学区)の方を対 象に実施	支援室
10/5、10/7	ボラカフェVol.1 ボランティア参加のススメ～秋のボランティア紹介	今出川:13 京田辺:3	[今] ボランティア資料室 [京] ボランティア資料室	支援室
10/22	第6回たなしる「たなたけ」	5	趣の工房 白光	支援室 (運営:ARCO(田))
10/25	[1日体験ボランティアプログラム] 子どもと一緒にハロウィンの準備をしよう!	1	西陣児童館	支援室
11/1、11/2	ボラカフェVol.2 ボランティア参加のススメ～秋のボランティア紹介	今出川:9 京田辺:2	[今] ボランティア資料室 [京] ボランティア資料室	支援室
11/10	秋ボラ! さあ、でかけよう。新しいジブンと世界に出会う旅へ	9	[京] 日糧館スペースプラザ	支援室
11/13	[体験ボランティアプログラム] 第14弾 和東のお茶を守ろう!茶畑ボランティア	6	京都府相楽郡和束町	支援室
11/27	[1日体験ボランティアプログラム] 里山農園で環境ボランティアを体験しよう!	2	やましる里山の会 里山農園	支援室
12/7、12/8	ボラカフェVol.3 ボランティア参加のススメ～冬のボランティア紹介	今出川:4 京田辺:2	[今] ボランティア資料室 [京] ボランティア資料室	支援室
12/17	第23回同志社つながる@カフェ 「そうだ、地域に行こう!～本箱巡り編～」	2	naeclose、上京区(正親学区)	支援室 (運営:ARCO(今))
1/11、1/12	ボラカフェVol.4 ボランティア参加のススメ～春休みのボランティア紹介	今出川:2 京田辺:1	[今] ボランティア資料室 [京] ボランティア資料室	支援室
1/13	スキルアップ講座Vol.10 ～じっくり考えよう!メンバーの巻き込み～	8	Zoom	支援室
3/16	[体験ボランティアプログラム] 第15弾 和東のお茶を守ろう!茶畑ボランティア	5	京都府相楽郡和束町	支援室

2022年度 ARCO 内研修

開催日	タイトル・内容	参加者数	場所
6/25	ARCO内研修(里山農園どんぐりの苗木植樹ボランティア体験)	4名	やましろ里山の会 里山農園(京田辺市内)
6/26	ARCO内研修(芋畑草引き、子ども夏祭り企画検討ボランティア体験)	6名	龍馬館(JR同志社前駅)周辺
7/2	ARCO内研修(イベント「さんさん土曜日」運営ボランティア体験)	4名	就労継続支援B型事業所 さんさん山城敷地内
7/2	ARCO内研修(ハーブ摘みとり、出荷準備ボランティア体験)	6名	就労継続支援B型事業所 三休の畑
12/4	ARCO内研修(「どんぐり拾いと標本づくり」イベント当日運営ボランティア体験)	3名	京田辺市中央公民館周辺
12/9	ARCO内研修(手話サークル「ひよこ」例会参加)	2名	京田辺市社会福祉センター
12/10	ARCO内研修(こどもの野外活動支援ボランティア体験)	3名	雑創の森プレースクール
12/14	ARCO内研修(施設 大掃除・看板づくりボランティア体験)	1名	就労継続支援B型事業所 三休
12/16	ARCO内研修(手話サークル「一休」例会参加)	3名	京田辺市社会福祉センター
12/18	ARCO内研修(森づくりボランティア体験)	4名	共育の森(京田辺市内)
12/21	ARCO内研修(ありがとうカフェ運営ボランティア体験)	1名	もどり場だんだんみんなのおうち
12/23	ARCO内研修(田辺点字サークル「すみれ」例会参加)	1名	京田辺市社会福祉センター
12/24	ARCO内研修(「全」市民第九コンサート当日運営ボランティア体験)	2名	京田辺市中央体育館
3/9	ARCO内研修(森づくりボランティア体験)	6名	共育の森(京田辺市内)
3/10	ARCO内研修(こども放課後活動支援ボランティア体験)	2名	南山城学園
3/11	ARCO内研修(こどもの野外活動支援ボランティア体験)	6名	雑創の森プレースクール
3/24	ARCO内研修(手話サークル「ひよこ」例会参加)	5名	京田辺市社会福祉センター

2022年度 地域団体、イベント等への企画、運営協力

開催日	タイトル・内容	参加者数	場所
5/7	能舞台フェスタ in 今宮御旅所	ARCO(今)2名	今宮神社御旅所
5/8	第41回西陣の朝市(西陣マルシェ)	ARCO(今)2名	西陣児童公園
5/28	プチ千両ヶ辻伝統文化祭	ARCO(今)2名	千両ヶ辻(市バス「今出川大宮」下車 大宮通沿)
5/29	プチ千両ヶ辻伝統文化祭	ARCO(今)5名	千両ヶ辻(市バス「今出川大宮」下車 大宮通沿)
7/31	第12回西陣わっしょい夏まつり	ARCO(今)2名	元西陣小学校
9/11	第42回西陣の朝市(西陣マルシェ)	ARCO(今)1名	西陣児童公園
9/21	第56回上京新能	ARCO(今)1名	白峯神宮
9/23	第17回西陣伝統文化祭「千両ヶ辻」	ARCO(今)5名 一般学生_3名	千両ヶ辻(上京区大宮通周辺)
10/1	能舞台清掃	ARCO(今)2名	今宮神社御旅所
10/15	かもがわデルタフェスティバル	ARCO(今)2名	希望の広場(養正児童公園)
10/16	上京こどもまつり	一般学生_1名	京都市立新町小学校
10/16	ばーばの手 お芋ほりイベント	ARCO(田)1名 一般学生_2名	龍馬館
10/23	第14回100円商店街	ARCO(今)1名	千本商店街 朱雀大路の街
10/30	秋の上京区民まつり	ARCO(今)3名	京都市立上京中学校、京都市立新町小学校
11/3	第44回室町シニアクラブ ふれあい演芸大会	喜劇研究会_3名 Hocus Pocus_3名	室町小学校
11/6	能舞台清掃	ARCO(今)1名	今宮神社御旅所
11/12	秋の上京茶会	ARCO(今)2名	本山観昌山本法寺
11/13	第43回西陣の朝市(西陣マルシェ)	ARCO(今)2名	西陣児童公園
11/27	京町家「庭のお手入れ」	ARCO(今)4名	五条の個人宅
1/15	能舞台清掃	ARCO(今)2名	今宮神社御旅所
2/12	第44回西陣の朝市(西陣マルシェ)	ARCO(今)6名	西陣児童公園
2/19	能舞台清掃	ARCO(今)2名	今宮神社御旅所

学生スタッフ ARCO とは

「地域と共に」をスローガンに、同志社大学生のボランティア活動への参加促進を目的として、地域やボランティア情報の発信・紹介や、イベント等の企画・運営などを行っています。

代表挨拶

ARCO（今出川）代表

2022年度は、コロナの状況も落ち着いてきたため、これまでと比べ、制限のない対面活動ができました。実際に、基幹事業「同志社つながる@カフェ」と、学生と一緒にボランティアに参加する企画をどちらも対面で行うことができ、学生に地域やボランティアの魅力を伝えることができました。今年はメンバーの人数が少ない中での活動だったのですが、そんな状況下でも、それぞれ達成感のある活動が行えたのではないかと考えています。

現在、ポストコロナの時代になりつつあります。コロナ禍・コロナ前の活動のいずれもよいところを取り入れ、今後も地域やボランティアと学生を繋げる架け橋のような存在になれるよう、活動を続けていければと思います。

グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科2年次生 前田 有希乃

ARCO（京田辺）代表

ARCO（京田辺）は2022年度に設立4年目を迎え、社会情勢に柔軟に対応しながら、対面での活動を中心に行えた1年になりました。基幹事業たなしに加え、学内のボランティア団体と一緒にボラフェスにも挑戦してきました。

またARCOの繋がりにも力を入れ、設立以降初めて今出川と京田辺合同ARCO交流会や夏冬に合宿、さらに現役生と卒業生が集まるOBOG会を実施しました。以上より、今年度は団体内外の繋がりをより一層深める契機になったと考えています。

2023年度は自ら学生に地域やボランティアの魅力を伝えていくために、さらに一人ひとりが人との繋がりを広げ深めていき、現状やニーズを踏まえた提案をしていけるよう活動して参ります。

文化情報学部文化情報学科4年次生 高向 千晴

＝ 学生スタッフ ARCO 2022年度活動実績 ＝

月日	タイトル・内容	場所	実施主体
4/4、6、23、5/7	「ARCO新歓 ブラタナ～京田辺の春を感じよう～」を実施	京田辺校地周辺、近鉄新田辺駅～防賀川周辺、三山木駅～木津川玉水橋周辺	今出川
4/12、14、19、21、26、27	「新メンバーオンライン募集説明会（今出川）」を実施	Zoom	京田辺
4/13	「ARCO新歓 相談会」を実施	[京] ボランティア資料室	京田辺
4/19、25	「ARCO新歓 ボランティアすごろく」を実施	[京] 多目的ホール	京田辺
4/24	「ブラアルコ～話して知ろうARCOと地域の魅力～」を実施	今出川校地周辺、バザールカフェ→be京都→妙顕寺→扇町公園→今宮神社御旅所	今出川
4/26、28、5/9、11、13	「ARCO新歓 説明会」を実施	Zoom及び[京] ボランティア資料室	今出川
4/28、5/26、6/23、7/28、10/27	「上京朝カフェ」に参加	西陣コネクト、Zoom	今出川
6/26	「with ARCO ～ARCOとボランティアをしよう!第1弾～」を実施	北青少年活動センター	今出川
7/16	「with ARCO ～ARCOとボランティアをしよう!第2弾～」を実施	北青少年活動センター	今出川
8/23	「令和4年度第1回京田辺市大学連携ディスカバリーベースミーティング」に参加	京田辺市役所会議室	京田辺
10/12	「ボランティアフェスティバル（ぼらふえす）」を実施	[京] 多目的ホール前広場	京田辺
11/6	「ボランティア体験 たなフェス」を実施	京田辺市役所前 コミュニティホール	京田辺
11/12、13	「ボランティア体験 こども服交換会」を実施	京田辺市社会福祉センター	京田辺
12/4	「能舞台清掃に参加しよう!」を実施	今宮神社御旅所	今出川

学生スタッフ ARCO によるシフト対応

今出川、京田辺とも、ARCO によるボランティアコーディネーターシフト活動を行いました。

(シフト活動の主な内容)

- ・ ボランティア支援室窓口でのボランティア相談対応
- ・ ボランティア募集チラシの内容を確認・情報整理、チラシラックや掲示板の整理
- ・ ボランティア体験記の作成・情報発信（今出川）
- ・ 京田辺市で活動する地域団体の情報整理・発信（京田辺）

同志社つながる@カフェ

「同志社つながる@カフェ」は、地域と学生の出会いをコンセプトに、地域で活動する様々な方々と出会い、気軽に情報交換ができる場として、上京区役所、上京区社会福祉協議会の協力のもと行っています。企画・運営はボランティア支援室学生スタッフ ARCO が担い、年間を通して実施しました。

○実施日・実施テーマ（参加者数）

7月3日（日）

第22回「身近な食から見つめてみない？京の暮らしとあなたの暮らし@出町商店街」（2名）

12月17日（土）

第23回「そうだ、地域に行こう！～本箱巡り編～」（2名）



【学生レポート】活動報告・感想（第22回分）

今回の同志社つながる@カフェは、出町商店街にフォーカスをあて、食の観点から、京都の暮らしやすさについて考える、というテーマで企画を実施しました。企画当初は、企画に参加してもらう学生にとって、どのようなテーマ設定、企画内容が魅力的であるかと、メンバーでよく議論をしました。企画当日は、ゲストスピーカーとして出町榊形商店街のお魚屋さん「さが喜」の井上淳さんをお迎えし、食文化についてご講演をいただいた後、商店街にみんなで足を運びました。その際、井上さんから商店街のお店の方を一人ひとりご紹介いただき、参加学生にとって地域を知る素敵なききっかけになりました。また、井上さんと学生との交流会でも、食文化について楽しく議論ができたため、企画が良いものとなり大変うれしく思いました。

グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科 2年次生 前田 有希乃

【学生レポート】活動報告・感想（第23回分）

今回の同志社つながる@カフェでは、地域住民自らが行う取り組みを知ってもらうことで、学生が地域に目を向けるきっかけに作りたいと考え、正親学区で行われている『正親まちの本箱プロジェクト』を取り上げました。当日は、本プロジェクトを立ち上げた岩谷礼子さんにお越しいただき、お話をさせていただきました。ご講演後は、学生自身が今後このプロジェクトにどのように関わられるかディスカッションを行い、最後に地域内でされている本箱を見て回り、実際の雰囲気に参加者に感じていただきました。また、各本箱を管理されている方にも来ていただき、本箱に対する思いを直接お聞きすることができました。当日は生憎の雨ではあったものの、参加者の方々にも満足していただき、非常に嬉しく思います。

法学部法律学科2年次生 武田 彩綺

with ARCO ～ARCO とボランティアをしよう！～

【学生レポート】活動報告・感想

「with ARCO ～ARCO とボランティアをしよう！～」は学生と ARCO が一緒に地域のボランティアに参加することで、学生のボランティア参加に対する不安を取り除き、その後のボランティア参加に繋げることを目的として開催しました。今回は北青少年活動センターで開催されている紫明通の清掃ボランティアに参加してごみ拾いを行いました。参加学生からは「落ちているゴミの種類が多さ、取りづらさが印象的だった」「みんなと協力して地域美化に貢献できて楽しかった」といったお声を頂き、普段何気なく歩く道にもよく見ればたくさんのゴミが落ちていることや、それらを協力して取り除く達成感を実感していただけたようで、企画をして良かったと思います。ARCO としても地域で行われているボランティアについて、チラシを見るだけでは分からない実際の活動を知る良い機会になったので、今後の活動に活かしていきたいです。

法学部法律学科2年次生 新留 真子

たなしる「たなたけ」

「たなしる」は、「京田辺のヒトモノコトを知る・知らせる」をテーマに、参加した学生が京田辺地域の魅力を知り、地域に目を向けて、それ以降も地域に出て行くきっかけとなることを目指しています。ボランティア支援室学生スタッフ ARCO (京田辺) の基幹事業として位置づけ、ARCO が企画作成・運営を行っています。

【学生レポート】活動報告・感想

今回のたなしるでは、京田辺市の特産品である竹をテーマにその魅力を学生に伝えるため、企画を実施しました。企画当日は、趣の工房 白光の中西さんにご協力いただき、お話をいただきました。実際に生えている竹を間近で見ながら、竹について知り、その後、京田辺市の特産品である竹灯籠制作を行いました。最後には、学生自身が竹の魅力を学生に伝えるにはどうすればいいかディスカッションを行いました。参加学生が地域を知る素敵なきっかけになったとともに、企画が良いものとなり大変うれしく思いました。



理工学部機械理工学科2年次生 稲垣 千鶴



ボラフェス

【学生レポート】活動報告・感想

「ボラフェス」は学生のボランティアに対するハードルを下げ、より身近に感じてもらうことを目的として開催しました。

本企画では学内に設置されたお祭り形式のブースを、当日声をかけて立ち寄ってくれた参加者が巡るスタンプラリーを実施しました。ブースでは6団体の学生ボランティアサークルが、輪投げなどのミニゲームに加えて、ボランティア体験談や普段の活動の紹介を行いました。

準備段階で参加者が集まるかという不安がありましたが、当日は声をかけた多くの学生が立ち寄ってくれ、終始賑やかな雰囲気で開催することができました。

新たな形式でのイベント開催で ARCO と他団体の繋がり、さらに、多くの学生にボランティア活動を楽しんでもらえたことにボラフェスの良さがあって感じています。

文化情報学部文化情報学科2年次生 松島 昂輔



ボランティア体験「たなフェス、子ども服交換会」

【学生レポート】活動報告・感想

今回のボランティア体験企画では、「子ども」と「まちづくり」をテーマとして取り上げました。「まちづくり」は ARCO (京田辺) の企画として初めて取り上げたテーマで、「学生と地域の自立した関係づくりによりそう」という理念に沿って参加者に地域との繋がりを持ってもらうことができました。「子ども」は大学生からの興味・関心が高い分野で、実際にボランティア活動中の参加者が楽しそうに子どもたちとふれあっていた姿が印象に残っています。ただ子どもたちの面倒を見るだけでも子育てに励むお母さんが悩みを共有できる居場所づくりにつながることを参加者に伝え、ボランティアに対するハードルを下げる事ができたと思います。

理工学部電気工学科2年次生 村上 優太



ボラカフェ

ボランティアに興味はあるけれど一歩踏み出せない、何から始めたら良いかわからず行動に起こせていない学生を主な対象に、参加者それぞれの疑問や不安を解消しながら、活動を探したり、活動経験者の話を気軽に聞ける場として、10月より1月まで毎月1回「ボラカフェ」を開催しました。

ボランティア関連の情報が得られる場であるとともに、学生同士で繋がりを作ったり、情報交換することができる場となるよう、学生スタッフ ARCO が情報提供者として運営に関わり、自身の経験や情報を参加学生に分かり易く伝えることを通じて、ボランティアコーディネーション力の向上にも繋がりました。また1日体験ボランティアに参加した学生に体験談を話してもらった場としても活用し、ボランティアの次のステップや継続に繋げることができました。



エールプロジェクト

2020年度からスタートした手紙やノートを紹介した異世代間交流企画「エールプロジェクト」を今年度も継続して実施しました。

今出川は、2021年度のプロジェクト参加者の内、継続希望者を対象に地域の高齢者2人と本学学生2人の計2組で6往復の手紙交換を実施しました。

京田辺は、2022年5月に開所した「ミライロ（京田辺市南部まちづくりセンター）」の協力を得て、地域の小学生12人と本学学生12人の12組で6ヶ月間、最大13往復のノート交換が行われました。

普通に大学生生活を過ごしているだけでは出会うことができない世代の人と、関係を構築できる機会として、参加学生、地域の双方の満足度が高いプログラムとなりました。

参加した学生からは「普段自分が生活しているだけではわからない考え等を感じ取ることができた」、「相手のことを思ってノートを書くので人のことを考えるきっかけになった」、また地域の方（小学生保護者）からは「やり始めた頃は平仮名を書くにも時間がかかっていたのにも関わらず相手のことを知りたい、聞きたい、または自分のことを伝えたいという気持ちも芽生え、毎回ノートを開くことを楽しみにしていました。素敵な取り組みに参加させて頂きありがとうございました」という感想をいただきました。



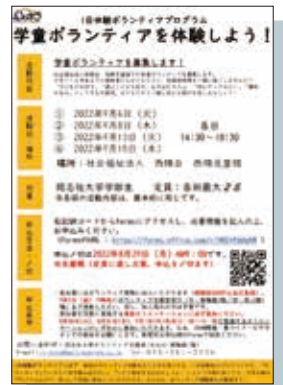
1 日体験ボランティアプログラム

新型コロナウイルス感染症の拡大によってボランティア活動そのものの数が減少していたこともあり、2022年度は可能な限り多く体験機会を確保することを目指して、支援室主催で5回の1日体験ボランティアプログラムを実施しました。

5月22日(日)実施の宇治茶の摘み子ボランティア、9月4日(日)実施の子ども向け夏祭りの当日運営ボランティアはいずれも定員を上回る応募があり、これまで以上に実体験への関心の高さがうかがえました。

参加した学生からは「ボランティアは自分が楽しめることであること、誰かのために犠牲になることではないと気づいた」「これからは大学内で勉強するだけでなく、大学の外でも学びを得るの必要性を感じた。またボランティア活動を通して、自分には積極的に行動する力が足りない」といった感想がありました。

「ボランティアしてみたいけど一歩を踏み出せない」「参加のきっかけがほしい」という学生は特に新年度当初に多く、実施時期の工夫をしながら、次年度も引き続きボランティアに触れる機会を積極的に設けていきたいです。



ARCO 研修



ボランティア支援室学生スタッフ ARCO の役割はボランティア活動に参加することではなく、さまざまな活動経験や多様な方々との繋がりを踏まえて、同志社の学生とボランティア活動(団体、人)との橋渡しをしたり、ボランティアそのものの面白さや魅力を本人目線で伝えていくことにあります。

ただ、コロナ禍の影響で、ボランティア活動や地域の方と関わる機会そのものが減少したことで、活動経験の蓄積や ARCO 内部での継承を十分にできず、コロナ前に実施していた学生企画の継続も一部難しい状況がありました。

そこで、メンバーの活動経験不足の解消を最優先課題と捉え、地域から依頼される活動に積極的に参加するようメンバーに呼びかけをし、地域から具体的に依頼される活動が少ない京田辺では、ARCO 研修として地域のボランティア団体の方との繋がりを作った上で、実際に活動に参加するところまでをサポートすることで、メンバーそれぞれの経験蓄積に取り組みました。

地域からの依頼は依頼ごとにメンバーに呼びかけ、ARCO 研修は、主に新メンバーが活動に加わった6月下旬～7月上旬、ARCO 企画の準備・実施のなかった12月、平日の活動に参加しやすい3月の計3回、各メンバーが希望する分野の活動に各時期1回以上参加できるよう調整しました。12月は職員が団体との調整を行いました。3月はメンバー自ら地域団体とのやり取りをすることで、次年度以降の学生企画の立案検討にも繋がられるようになりました。3月には2団体以上の活動に意欲的に参加するメンバーもあり、ARCO と地域団体との新たな繋がりもできて、実際に次年度の学生企画に繋がる芽も生み出すことができました。(P5 参照)

同志社ボランティアネットワークとは

同志社ボランティアネットワーク（通称 V-NET）は、同志社大学に所属するボランティア団体（公認団体、学生支援センター登録団体）の活動のさらなる活性化を目的とした、学内ボランティア団体横断型ネットワークです。

2022年度のV-NETは、春学期はこれまで通りそれぞれのキャンパスごとに合同新歓を企画し、＜今出川＞ではオンライン新歓を2日程、＜京田辺＞では3年ぶりの対面の合同新歓を開催しました。しかしコロナの影響もあって、先輩からの引継ぎができなかったり、メンバー集めに失敗したり、活動をうまく作り出せなかった団体、V-NETを抜ける選択をせざるを得なくなった団体が複数発生しました。特に＜京田辺＞は加盟団体として活動できる団体の減少が大きく、残った団体で話し合ったところ＜京田辺＞単独で活動を続けるよりオンライン等を活用して＜今出川＞の活動に合流したいとの希望が複数上がりました。そこで、秋学期より＜今出川＞＜京田辺＞合同でミーティングを行い、各団体の運営、活動紹介をしつつ、コロナ禍・アフターコロナの時期の活動の作り出し方やメンバー同士の交流の仕方などの共通する課題を中心に交流しました。12月からは例年より早く2023年度の合同新歓の準備を始め、2023年度からは＜今出川＞＜京田辺＞のV-NETを統合していくこととしました。

＜加入団体／今出川＞

国際居住研究会
STUDY FOR TWO
学生団体 CHAD
学生団体 LUCKY
ASUVID 今出川

同志社ヒーローショー同好会
同志社ワーキングコーラス
Shinmachi Activate Project
同志社 FAST
そら

＜加入団体／京田辺＞

スポーツボランティア団体 Egg
Global Baton for Ishinomaki
PAZ MUSICA
ASUVID 京田辺

ボランティアサークル徹底比較会 in2022 合同オンライン説明会（今出川）

4月9日（土）と10日（日）に、主に今出川校地を中心に活動している8団体による新歓イベントを、オンラインにて開催しました。

合同オンライン説明会では、はじめに全団体の活動紹介を、分野ごとにまとめて行いました。そして後半では気になった団体に質問ができるように各団体との交流時間を3回設け、ブレイクアウトルームにわかれて行いました。2日間延べ62名の学生が参加し「個々のサークルの活動についてかなり詳しく知ることが出来ました。参加してよかったです。」「ボランティア活動の詳細が聞け、自分のしたいことにつながるサークルも見つかってよかったです。」といった感想が寄せられ、対面することは難しい中でも、最初の一步を踏み出す大きな後押しになったようです。



Do ボラ春の新歓まつり～同志社ボランティア団体合同新歓～（京田辺）



4月19日（火）にzoom（オンライン）で、5月7日（土）に京田辺キャンパス新別館第10会議室（対面）で、京田辺校地で活動しているボランティア団体の合同新歓イベントを行いました。

イベントは各ボランティア団体の活動を知ってもらい入会者を募ることにとどまらず、新入生にボランティアをより身近に感じてもらい、ボランティアに対して関心を持ち、団体とつなぐきっかけになる場をすることを心掛けました。また昨年度の合同新歓で、対面での場に参加したかったとの声が多かったのを受けて、コロナ対策に配慮しながらできる形での対面イベントの開催を模索しました。

アイスブレイクや各団体の発表内容を取り入れた〇×クイズを実施することで参加者が一方的に聞くだけの時間になって飽きさせないように、また、対面時には各団体のブースに分かれて直接気になった団体に質問し、団体ごとの新歓参加につながる工夫をしました。2回で延べ22人の学生が参加し、「あまり関心がなかった団体についても説明を受けることで興味を持った」「今日参加して、各団体への興味をもて、これからそれぞれの新歓に参加してみたいと思いました」といった感想が寄せられ、参加者のサークル選びやボランティア活動の選択の幅を広げることもつながったようです。

国際居住研究会

活動内容

私たちは「世界の誰しにも可能性の開かれたフェアな社会の実現を目指します」という理念のもと、国内外問わず多様な支援活動を行う歴史あるボランティアサークルで、同志社大学の公認団体です。

普段は貧困地域への住居支援、フィリピンの女性と子供達への支援、バングラデシュ孤児院への支援、農業指導者の育成学校への支援、ビルマ難民への支援のそれぞれを主な活動とする5つのプロジェクトに分かれ活動しています。



【メッセージ】

一つのサークルのような規模と、活動を行うプロジェクトが5つあり、多様な考え方を持つ人に出会えることが国際居住研究会の魅力です。沢山の活動を通して得られる刺激はあなたを成長させる！！ぜひ私たちと共に活動してみませんか？

経済学部経済学科3年次生 寺井 笙真

STUDY FOR TWO 同志社大学支部



活動内容

私たち STUDY FOR TWO は、「勉強したいと願うすべての子どもたちが勉強できる世界に」「FOR ME, FOR TWO のボランティアが身近になる世界に」の理念のもと、全国40以上の大学支部が活動しています。大学生のみなさんに使い終えた教科書を寄付していただき、集まった教科書を定価の半額以下で再販売しています。販売で得た利益の8割以上は、タンザニアといった開発途上国の子どもたちの教育支援に充てています。



メッセージ

同志社大学支部は学部学年問わず、少人数で活動しています！さらに、全国に支部があるので、普段は関わる機会のない他大学の学生と話したり、実際に会ったりして仲良くなれます！ぜひ私たちと一緒に活動しませんか？

文学部英文学科2年次生 鎌込 拓也

学生団体 CHAD

活動内容

私達はカンボジアの子供たちに向けて教育支援を行っている学生団体です！

毎年春夏と2回カンボジアに渡航し、サッカーグラウンドの建設や図書館を建設してきました。コロナ禍の今はクラウドファンディングによる現地の図書館建設やアクセサリ販売、日本の小学校でカンボジア授業を行うなど幅広く活動をしています！“挑戦と自己成長の場の創出”を活動理念に、カンボジアと日本の懸け橋になるよう日々活動を続けています！



メッセージ

現在85名が在籍している学生国際協力団体になります！

学生主体となってカンボジアに図書館やサッカーグラウンドを建設するなど、大学生活を楽しみながらも何か大きなことに取り組めるのはCHADだけです！

商学部商学科2年次生 吉田 龍宇



学生団体 LUCKY

活動内容

私たちは毎週火曜日に MTG をおこない、そこで募金の日程調整や活動報告をし、現地に訪問した際にはどのような支援が有効で、望まれているのかなどを議論し活動を行っています。現地とオンライン、または実地への訪問により交流を保つとともに、自己満足の支援でなく、最も有用となり得る支援ができるようにということを一番に考え活動しています。

Learn to act, act to learn. 学ぶために活動し、活動するために学ぶという理念のもとに日々の募金活動などから支援活動を行っています。



メッセージ

昨今のコロナウイルスの蔓延により、現地とのつながりが感じづらい時期もありましたが、今日までサークルとして活動を継続することができました。2023年の3月に渡航することが決まっているので、まずは現地とのつながりを通して現状を把握し、今後の活動をより実りのあるものにできるよう、より一層精力的に活動していきます。

神学部神学科2年次生 高岡 颯一郎



ASUVID 今出川



活動内容

ASUVID 今出川は、国際協力・地域活性化・環境保護・子どもの教育支援・減災防災・消費生活の6つの分野にわたって、幅広く多様なボランティア活動をしています。また支部であるIVUSAによって、災害救援などのボランティアから清掃活動などの参加しやすいボランティアまで多岐に渡っているため、自分に合ったボランティアからはじめてみるができます。活動場所も京都市内から全国までであるため、クラブ員同士はもちろん、全国各地の仲間と活動することも魅力です！実際に現場に行くと社会問題に向き合ったり、仲間と何かを成し遂げたり、大学生だからこそできる経験を積むことができます。

メッセージ

ASUVID 今出川は4学年300人程からなる団体です。やりたい事も人それぞれで、それぞれのやりたいことを応援し合える、魅力溢れる団体です。ボランティアをしてみたい人、友達欲しい人、まだやりたいことが見つからない人も大歓迎です。私たちと一緒に素敵な大学生活を送りましょう！

社会学部産業関係学科2年次生 飯田 明日香



同志社ヒーローショー同好会

活動内容

普段は関西圏を中心に幼稚園や小学校、地域のお祭りや福祉施設などからご依頼を受け、オリジナルのヒーロー「同志社戦隊タナレンジャー」が活躍するヒーローショーやボランティア活動を行っています。また学園祭でも特設ステージでショーを行っています。近年はYouTubeでショーやダンス動画を配信するなどオンライン活動にも力を注いでいます。ショーの活動以外にも合宿やイベントなども行うので、同学年だけでなく先輩や後輩との親睦も深まります。

メッセージ

私たちは、ヒーローショーを通じて地域の子供たちに笑顔をお届けしています。またショーだけでなく例年は合宿やイベントも盛りだくさんです。ヒーローを知らなくても大丈夫です！みなさん、私たちと一緒にヒーローになりませんか？

社会学部教育文化学科3年次生 村上 明依



同志社ワーキングコーラス

活動内容

私たちのサークル、同志社ワーキングコーラスは現在、新2回生、新3回生の合計90人で活動しています！自分たちでプログラムを作成し、子どもたちにキャンプを提供することが主な活動です！当日は、運営、進行すべて私たちが行います。他にもハイキングや花背の家でのボランティア活動、地域のイベントへの協力など様々な活動を行っています！

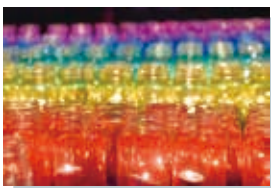
メッセージ

子どもが好き、キャンプが好き、素敵な仲間に出会いたい、新しいことを始めたい、一つでも当てはまったら、ぜひ気軽に同志社ワーキングコーラス（DWC）に参加してください！

経済学部経済学科2年次生 伊藤 颯生



Shinmachi Activate Project (SAP)



活動内容

同志社大学の今出川校地にある3つのキャンパスの1つである新町キャンパスを拠点にして活動しています。新町キャンパスは政策学部と社会学部の2学部から成り立つ小さなキャンパスです。その新町キャンパスを少しでも活性化させるべく私達は活動しています。

本団員は全て政策学部、社会学部の学生で構成され、学生向けイベントの主催から地域のイベントへの参加そして学校行事にも積極的に参加し、1年の締めくくりである12月に開催される新町祭に向けて活動しています。

メッセージ

私たちSAPは昨年15周年という大きな節目を迎えました。団体を立ち上げた当初は小さな団体でしたが、今では新町キャンパスを代表する大きなものになりました。16年目を迎える今年は団体のメンバー、一人ひとりが輝き、団体と共に成長していきたいと考えています。

政策学部政策学科2年次生 植村 森平



Global Baton

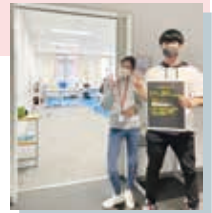
活動内容

私たちは日本人学生と外国人留学生がそれぞれの個性を発揮し、一緒に楽しく活動している国際交流ボランティアサークルです。コロナ禍は続きますが、今年度からは少しずつ対面活動を再開させています（お菓子を通じた文化交流イベントや、3年ぶりのイブ出店など、イベント収益の寄付も今年度より再開予定）。日本人学生もフラットに留学生メンバーがいるという強みを生かし、多文化共生ボランティア団体を目指しています。

メッセージ

V-NET 所属団体の中で、外国人留学生が数多く参加しているボランティアサークルです。国際交流や地域・社会貢献に興味ある方はぜひご参加ください。皆様のご参加を心からお待ちしています！

理工学部理工学科3年次生 西田 匡希



PAZ MUSICA

活動内容

PAZ MUSICA はスペイン語で「平和な音楽」という意味で、赤ちゃんからお年寄りの方まで、幅広い世代の方々と音楽を通して交流をしています。バイオリンやギター、鍵盤ハーモニカなど、さまざまな楽器を使って演奏するほか、参加者の方と一緒に歌ったり、体を動かすレクリエーションも行っています。

メッセージ

コロナ禍により、オンラインで交流会を行うこともありますが、昨年はイベントや高齢者施設にて対面での演奏が増えました！私たちと一緒に音楽ボランティアで素敵な思い出作りましょう！

同志社女子大学学芸学部音楽学科2年次生 門田 未那実



同志社大学 学生支援センター
ボランティア支援室

開室時間 9:00~17:00 (平日)

HP <https://volunteer.doshisha.ac.jp/>



今出川校地

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103
室町キャンパス寒梅館1F

Tel(075)251-3236 Fax(075)251-3099

Mail ji-volun@mail.doshisha.ac.jp

京田辺校地

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

京田辺キャンパス成心館1F

Tel(0774)65-6777 Fax(0774)65-7024

Mail jt-volun@mail.doshisha.ac.jp

公式 LINE



学生スタッフ ARCO SNS

今出川



X (旧Twitter)



Instagram

京田辺



X (旧Twitter)



Instagram